
リボーン×薄桜鬼

恋桜鬼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リポーン×薄桜鬼

【Nコード】

N0837I

【作者名】

恋桜鬼

【あらすじ】

10年バズーカで未来へ行くはずが故障で江戸時代へ行ってしまった。ツナ！！！そこで、浅葱色の羽織をまとった人たちに見つかってしまう。

第一話：ついた先は！？（前書き）

ツナ目線で進行します。

表現がわかりにくいです。

第一話：ついた先は！？

リポーンを探して、大人ランボに10年バズーカについて聞くこと
思ったら、

俺が10年バズーカに当たってしまった・・・。

<ドサツ>

「痛てっ！」

ここは10年後の世界?? じゃない!!

周りを見てみると、着物を着た人に、腰に刀を挿した人・・・。

「ここは・・・江戸時代!？」

え　っ!!!　なんで俺、江戸時代に!?　まさか、10年バズ

ーカの故障??

周りをキョロキョロ見ていると、後ろから声をかけられた。

「そのの者!何をしている!？」

浅葱色の羽織を着て、刀を挿している人達が近づいてきた

「ん?見慣れない服装だな・・・西洋の者か?どこから来た?」

未来からです。なんて信じてもらえないだろうけど、黙っててもし

ようがないから言ってみるか・・・

「えーっと・・・俺は、未来の並盛町という所から来たんです。

けっして怪しい者ではありません。」

羽織を着ている人達は、互いに顔を見合わせてから

「未来から?　馬鹿にするな!!　そんな嘘を信じるわけがないだ

ろう!!!」

あゝやっぱり・・・。

「もしや薩長の者か?　ならばここで死んでもらう!」

すると、一斉に刀の柄に手をかけた。

『ひいゝ!!!　殺されるゝ!!!』

もうダメかと思ったその時!

「ねえ、君達何してるの??」

同じ浅葱色の羽織を着た、茶髪で緑色の眼をした人が間を割って入ってきた。

「た、助けてくれたの??」

「あ、沖田組長。怪しい者を発見したので、薩長の者かと思い……」

沖田組長と呼ばれた人は、チラツ　とこっちを見て

「ふーん……。薩長の人なら、新選組の敵だよ。じゃー、何かさ
れないうちに斬らないといけないねっ」

その人は、ニコツ　と微笑んで、腰に挿してある刀を抜いた。

「うあゝ!!! やっぱり殺されるんだあゝ!!!」

今度こそダメかと思っただけど、

「待ってください! 沖田さん!!!」

女の人の声でした。

顔を上げると、さくら色の袴を履いた人がかばって来ていた。

「あれ? 男の人??」

「ねえ、邪魔しないでくれる? そこどいて。」

「ごきません!!! ごめんなさい……。でも、この人は悪い感じが
しないんです。どうか許してあげてください!!!」

男の人(?)は沖田っていう人の顔を見て、必死に俺をかばって
くれた。

「やれやれ、君にそんな顔されたら敵わないよ……」

分かった、今は斬らない。でも、屯所へは連れていくよ。」

そう言っつて刀を鞘に収めてくれた

「あ、ありがとうございます!!!」

男の人(?)は大きく頭を下げてお礼をしていた。

「俺、助かったの??」

状況の展開についていけてないのが、自分でもわかった。

助けてくれた人が俺のほうを向いて、笑った。

「この人、男なのかな? 女なのかな……?」

そんなことを考えているうちに、俺は手首を縄で縛られていて、屯所とかいうところへ連れて行かれた。

第一話：ついた先は！？（後書き）

読みにくくてすみません（汗）

今、2話目を執筆中ですが、
いつ完成するかは未定です。

受験生なので、いろいろと・・・・・・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0837i/>

リボン×薄桜鬼

2010年10月12日03時30分発行